



てんかんセンター巡り 第11回

日本医科大学武蔵小杉病院

施設概要

住 所 〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-396
電 話 044-733-5181 (代表)
ホームページ <http://kosugi-h.nms.ac.jp/>

日本てんかん学会 1名
専門医の人数

てんかん診療 地域連携拠点としての役割

日本医科大学武蔵小杉病院は1937(昭和12)年にこの地に開院以来、約80年間地域の皆さまに可愛がられています。現在は18診療科・372床であり、日本医科大学の附属4病院の中では最も少ない病床数ですが、近年の武蔵小杉地区再開発に伴い、各診療科で活発な診療活動を行っています。

神奈川県は907万人の人口を擁しており、

圏内には24名のてんかん専門医が活動していますが、そのうち当院には常勤1名のみ(脳神経外科)が在籍しています。当院は2015年11月に神奈川県から「てんかん診療地域連携拠点施設」として指定を受けました(以下、拠点事業)が、施設におけるてんかん専門外来は、脳神経外科で開設しているのみ(完全予約制)ですので、いわゆるフリーアクセスでの、オールラウンドなてんかん診療を可能にしているものではありません。

一方、フリーアクセス可能な「てんかんセン



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会

ター」と呼べる施設は、目下のところ神奈川県内には存在しないため、県内の診療ネットワークを高めることも当院の役割の一つであると考えています。拠点事業を受けて、すでに2015（平成27）年度から県民公開講座の開催やコメディカルスタッフの研修セミナーを開催しています。将来的には、主として神奈川県民に門戸を開いた相談窓口の設置を予定しています。

さらに、拠点事業には県内有数のてんかん専門医も参画しており、今後はさらに網羅的なネットワーク整備を行い、神奈川県内の患者さんのお役に立ちたいと考えています。

てんかん診療の特徴

当院では、成人・小児を問わず、外科的治療を必要とされる難治性てんかん患者さんに治療を行うことが特徴です。側頭葉てんかんに対する選択的扁桃体海馬切除術が、極めて安全に行えることに定評があるほか、脳葉切除術・脳梁離断術・頭蓋内電極設置による脳機能マッピングおよび焦点切除手術・脳葉切除術・機能的半球離断術・VNS（迷走神経刺激）療法、など、あらゆるてんかん手術に対応しています。2015年に当院ならびに関連施設で行った、てんかん外科手術は34例でした。手術を検討している患者さんに対しては、

脳波ビデオ同時モニタリング検査を実施して、より正確な診断と治療を行うことを心がけています。このために、リエゾン精神科を中心とした院内関係各科と無理のない連携を行い、看護師・コメディカルも参画した多職種によるアプローチを常に構築しています。

もちろん、当院だけで皆さまに必要なてんかん診療が全て解決するものではありません。国内100万人のてんかん患者さんを、わずか500名のてんかん専門医が診療し続けることが、必ずしも正しいこととも思いません。私たちは拠点事業「神奈川モデル」の構築を通じて、どのような診療体制であり続けることが国民の皆さまのお役に立てるのか、常にアップデートし続けていくオピニオンリーダーでありたいと考えています。

（脳神経外科 太組 一朗）

